

相生山の四季を歩く会

「意向調査」意見発表者原稿

T 天白区在住

私は野並の交差点近くに住んで 30 年ほどです。

道路の混雑状況は、地下鉄が野並まで来た時にバスが野並から発着するようになり、ずい分と混むようになりました。しかし、徳重まで延びてからは緩和され、渋滞はほとんどありません。

相生山線を造る必要は無いのです。

地元のおばあちゃんが言ってました。「何十年も前から道路を造ると言って、ちっとも造らず、今さら要らない」

50 年も前に計画されたこと、住む人も、価値観も変化してきています。決まっていた計画だからと工事を進めたことに問題があったと思います。

皆さんホタルのことを言われますが、相生山はホタルだけではないです。

私は相生山の大きな自然が大好きで、よくバードウォッチングに歩きます。

以前はよく見た、カケス・キジ・アカゲラ（キツツキ）・シメ・ウソなどの鳥、今はほとんど見られません。

自然は確実に壊れてきてます。この大切な自然をどうぞ守って下さい。

私は瑞穂区白砂町の住民です。天白区と瑞穂区を分ける道路の西側の住民です。

仮に相生山からの道路が開通しますと、車の通行が増えることを予測して、次の2点が気がかりです。

- 1 昭和高校前交差点に至る途中に左折・・・西側への生活道路への車の進入増加
- 2 昭和高校前交差点の更なる渋滞増加

少し説明をさせていただきますと・・・

1 番目の生活道路への左折進入増加ですが・・・この道は一方通行で、車道としては4mのたいへん狭い道路です。当時、朝の通勤時間帯には渋滞もあって生活にも支障があったため、今から7、8年前に「朝7～9の左折車両進入禁止」「大型車禁止」の標識を2、3年かけて瑞穂警察にお願いし設置後、たいへん効果が出ております。それでも現在、この時間帯での違反入車が絶えません。北からの右折車には規制は無いため、進入車があります。

道路開通となると、左折車の増加によって、再び生活への影響が出ることを懸念しています。

2 番目の昭和高校前の交差点の渋滞ですが、今年の夏に左折（西行き）進路が両側の歩道を狭めて新設されたため、直進は左折車にはばまれることなく通行できますが、それでも朝などは2～300mの渋滞です。

道路開通となれば、一層ひどくなるのではと思っています。

以上ですが、さらに一言だけ触れさせてください。

今回、道路建設で生活道路への進入が緩和されるという賛成派の地区が多々ありますが、これは後出し、便乗意見です。地区の状況によっては、道路建設で逆に増加すると私は思っています。従いまして、道路建設の有無にかかわらず、この地区は今からでも進入する車への規制として「時間帯」「車両重量」「規制の現状見直し」等を図るべきかと思えます。

最後の最後で皆さんも同じ思いかと思いますが一言。

現代は忙しい世の中で家庭でも同じです。人間関係も粗末になりがちで、相手への思いやりより自分のことで精いっぱいの時もシバシバあります。このような時代に生きる今こそ自然環境は大切です。このような今の時代こそ心を癒し、また潤す一つの在り方として自然環境・景観に身を置き自然に親しむ心の安息場所、心の素直さを見つめ直す場が必要不可欠です。

特にこの相生緑地帯に道路を、は時代逆行です。この観点でも道路建設は本音で望みません。

河村市長さんになってから、この道路建設を色々な角度から見て、一旦中断されたかと思えます。尊い英断に素直にありがたうと深く感謝しています。私は、今の時代だからこそ自然環境、自然景観の保全、維持整備が急がれますし、これは世界共通認識の時代でもあります。

よろしく願います。ありがとうございました。

私には、久方中学校に通う息子がおります。

息子は小さい時から相生山緑地の自然にふれ、今は名古屋市教育委員会主催の「環境未来探検隊」に入り、身近な自然や環境について学び、様々な体験活動をしています。

シンポジウム相生山では陸貝調査に参加し、森林や里山は私たちにきれいな水、きれいな空気をくれる大切なパートナーであることを学びました。

相生山緑地の竹やぶ整備体験では、自然を守ってきた人々の努力を知り、生き物を育む森を体感できました。

子育てしていくうえで、小さい頃の身近な自然体験はとても重要です。

現代の子どもたちの自然体験量は減少しており、将来の「生きる力」の低下を引き起こす可能性もあると考えます。

そんな貴重な体験が出来る環境教育の場として、この貴重な相生山緑地を道路で分断される事のない緑地公園というかたちで、未来に残して欲しいと願います。

最後に「環境未来探検隊」の子どもたちの言葉をかりてエールを送ります。

『起こそうアクション！未来のために』

まず私の相生山の境界の付き合いについてお話しします。

私が住んでいるところは、相生山緑地からほんの少し離れた場所にあります。しかしながら、相生山緑地は手軽な散歩コースになっており、四季折々の風景を楽しんでいます。

ヒメボタルのシーズンにはほぼ毎日、ヒメボタルを観察・及びカメラでの撮影をしています。今年も、5月の後半に稲田口側の工事現場の近くで、たくさんのボタルが乱舞する姿を見えています。また、ヒメボタルを見に来る方への案内をしています。海外の方が見に来たこともありました。

人の前で喋ることもままならなかった私が、いろいろな人と喋れるようになったのは、相生山緑地のヒメボタルと、ヒメボタルを見に来る人達のお陰です。

本日の意向調査に参加したのも、ブログにヒメボタルの写真を掲載していて、「相生山の四季を守る会」の方に声をかけて頂いたのがきっかけになります。

私は、相生山の道路建設に対して廃止を求める立場であります。

その理由としては、貴重な都会にあるヒメボタル生息地の保護の観点もありますが、特に愛知県では、2005年の長久手・瀬戸市で開催された愛知万博（海上の森の保護と環境活動に対する様々な取り組み）と2010年の熱田区にある名古屋国際会議場で開催されたCOP10において生物多様性についての取り組みを行いました。

環境保護が話題になっている今こそ、愛知万博やCOP10の環境保護活動を我々の世代から未来へ橋渡し、そして世界へ発信していきたいと考えております。

そのために、相生山緑地を新たな環境保護活動のモデルとし、相生山緑地を道路建設の廃止及びヒメボタルの恒久的な保護を目的とした保全地区という形で未来の子供達にそのままの姿で返していくこと。

さらに人が自然を壊すことなく共存していくことが可能であるという、新たな形での環境保護の試みの成功事例として、環境保護の取り組みの最先端である、この愛知・名古屋からこの成功事例を配信・提唱していきたいです。

このような小さな活動や取り組みこそが、やがて大きな保護につながっていくと私は考えております。

緑区戸笠小で七年間教員をしていました。相生山緑地まで歩いて20分ほどかかりますが、たくさん子ども達を連れて、人参畑を見学したり、どんぐりを拾ったり、おいしいお弁当を食べたりしたものです。

そんな時必ず、子ども達に呼びかける言葉があります。「さあ、みんな耳をすませてごらん。何が聴こえるかな」「どんなにおいを感じたかな」鳥のさえずりや森の香りを感じてもらいたいからですが、

「先生、車の音がうるさくて・・・」とか

「排気ガスの匂いがしてくるよ」などという答えが返ってきたらどうでしょうか。

この緑地は、相生小、山根小、野並小を始め、歩いて1時間もかかる、遠方の小学校も、また、幼稚園、保育園でも利用しています。安心して自然を満喫できる教育の場として、フル活用されているのです。

ところで、名東区牧野が池緑地をご存じですか。150㍊名古屋最大の緑地です。ゴルフ場、駐車場もあって東西から道路は伸びて接していますが、通り抜けることはできません。

話はかわって代々木公園。 Dengue 熱で有名になりましたが、その中央には日本で最初に作られたバードサンクチュアリがあることはご存じでしょうか。隣には明治神宮があり、合わせればその面積は相生山緑地と同じくらいになりますが、もちろん車が通りぬける道路はありません。

理由は、住宅地にお住まいの方ならわかりますよね。交通規制に守られ、通過車両を排除しなければ、安住の地とはなりません。

相生山緑地の住人はホタルさんカブトムシさんだけではありません。自然を愛する子ども達こそ、森の主人公であります。

静かで排気ガスのない、相生山緑地を、名古屋の将来を担うみなさんの子どもの教育のためにも、遺していきたいのです。どうか、みなさんの協力とご理解をお願い申し上げます。